

富良野市教育委員会だより

ZEROふらの

発行：富良野市教育委員会
 住所：富良野市弥生町1番1号
 電話：0167-39-2320
 FAX：0167-23-3528
 Email：kyouiku-ka@city.furano.hokaido.jp

教育委員会の活動

教育委員の交替

菅野義則 委員が退任

6月30日をもって、平成26年7月より8年間、教育委員を務められました、菅野委員が退任いたしました。

皆様におかれましては、日頃より富良野市の教育行政に対してご理解とご協力を頂きまして心よりお礼申し上げます。この度、教育委員を退任させていただくことになりました。平成26年6月より8年間に渡り教育関係とはまったく無縁の人生を歩んできた私をご指導くださった全ての関係者の皆様と常に真っ直ぐな感動をあたえてくれた児童生徒の皆さんに感謝とお礼を申し上げます。

今の教育行政は急速な社会変化の中でさまざまな対応が求められており、これからの教育には何が大切な事で、どこを向いて行かなければならないかを問われている様に思います。その中心には「自然」と「環境」があるべきだと私は思っておりますし、あらゆる命を「次の世代に継ぐ」事だと言えます。人間だけの都合の良い生き方を改め、その上で豊かな文化と芸術が再び北から南まで日本全国に広がってほしいものだと願っております。これからも農業を通して「明も食べられる」安心と幸せを未来の子供達まで届け続けていきたいと思っています。

皆さんありがとうございました。



木村 謙 委員が就任

7月1日、木村委員が就任いたしました。
 任期：令和4年7月1日～令和8年6月30日

2022年7月より教育委員をつとめさせていただいております木村と申します。高校卒業後3年間東京で夜学に通いながら働いておりましたが、生まれも育ちも富良野の私にとって『富良野の子ども達の為に』とお話をいただき、光栄ではありますが責任の重さも大きく感じている所です。

小さい頃からお世話になっている柔道少年団で、社会人になってからは指導員の一人となり、そのご縁で市スポーツ少年団本部やスポーツ協会と主にスポーツ・社会教育の分野でお手伝いさせていただき、柔道以外の子ども達や学校の先生方とも接点を持たせていただいております。

ここ数年のコロナ禍で子ども達をとりまく環境も大きく変化してしまい、親としての立場でも子ども達や先生方が大変ご苦労されている場面を目の当たりにし、『子ども達の為に』との言葉の重要性を改めて大きく感じています。私に関わるスポーツの分野でも、中学校部活動の問題など大きな転換期を迎えております。微力ながら一つ一つの課題に真摯に向き合い、少しでもよい方向にと考えております。今後とも宜しくお願い致します。



教育長通信 地域の魅力ある高校づくりに向けて

富良野市内及び周辺町村における中学校の卒業者は減少傾向が続いており、教育ニーズの多様化等により市外への進学者が3割以上いることから、富良野高校・富良野緑峰高校は、数年後には生徒減少による間口削減、教員数の減少、部活動の種目数減など、両校とも現状の教育環境の維持ができなくなることが予想されます。北海道教育委員会によると、全日制高校において1学年4学級の場合、教員数30人、開設科目数43科目程度が、3学級になる場合、教員25人、開設科目数36科目程度に減少するとされています。このことは、教員減少により専門性の高い教員配置や選択可能科目が減少し、富良野高校で大きな成果をあげている普通科単位制による少人数指導や習熟度別指導、多様な選択科目の設置が困難になる可能性があり、緑峰高校においても大幅な定員割れの現状から学科削減など、地元高校に通う高校生の将来に向けた選択肢をせばめることにつながり、進学者の教育ニーズによる市外流出の増大が懸念されます。

これらのことから、地元の高校においても生徒の夢や希望が実現できる教育環境づくりに向け、経済界・教育関係者（保護者代表を含む）・有識者などによる「市内高等学校の在り方検討会議」において、現状と課題、中学生の減少や進路状況の推移、中学生へのアンケート調査等の参考に議論を重ね、高校の再編により一定規模の生徒数・教員数を確保し、地域の教育資源を集中させ、多様な教育ニーズに応える質の高い教育環境づくりが必要との結論が出されました。このことは、地域を担う人材育成に向け、地元高校への進学率の向上をはかってきた市町村においても共通の認識となったことから、今年4月に圏域市町村・教育委員会の要望として北海道・北海道教育委員会へ提出したところです。その様な経過の中で、今年9月には北海道教育委員会より、令和7年度に市内において、今後の中卒者の状況や学校・学科の配置状況、地域の要望などを勘案し、一定の学校規模を維持し、幅広い教育課程の編成・実施を図る観点から、富良野高校と富良野緑峰高校を再編統合し、新設校を設置することを決定したとの公表がありました。また、新しい学校で使用する校舎は富良野緑峰高校校舎とし、設置する学科は検討中、生徒の多様な興味・関心や進路希望などに応じた主体的な学習が可能となるよう単位制を導入することが示されました。

今回の決定は、地域要望が一定程度反映されていると考えておりますが、新設校ができたからそれだけでよい訳ではなく、生徒にとって魅力ある高校にするためには、地域全体が高校教育に関心を持ち、高校と連携し生徒たちの資質能力を高めるための取組を継続させるとともに、地域活性化の観点からも生徒たちが地域と関わる機会が多いほど、郷土に愛着を持ち定住する割合が多いと言われていることから、地域で高校生が活動できる環境づくりを必要であると考えております。少子化が進行する中で、地元の高校を守り続けるためには、高校は存在するものではなく、地域ぐるみで創り上げるもの・育てるものであってほしいと思います。多くの皆さんが、地元高校のサポーターになっていただくことを切に願うものであります。

教育委員会会議録（令和4年6月～9月）議題一覧より抜粋

- 6月29日（水） ○報告議案第2号 富良野市教育委員会職員等の人事報告（専決処分）について
- 7月21日（木） ○議案第2号 地域学校協働活動推進委委員の委嘱について
- 8月18日（木） ○議案第2号 市立富良野図書館設置条例の一部改正について
○議案第5号 令和3年度富良野市教育行政評価報告書について
- 9月22日（木） ○議案第2号 富良野市立布部小中学校の廃止について

定例会は傍聴もできますので、教育委員会に事前にご連絡ください

編集・発行：富良野市教育委員会 教育振興課 〒076-855 富良野市弥生町1番1号 電話：0167-39-2320

6月より課名、9月26日より複合庁舎へ移転しています。